

en

アルフォンス・ミュシャと

宇野亞喜良



ALPHONSE MUCHA
AQUIRAX UNO



MUCHA



2022
4.9^{SAT} - 7.31^{SUN}

開館時間 9時30分～17時15分(入館は16時30分まで)
休館日 月曜日(休日の場合は開館)、休日の翌日(5/6、7/19)、
展示替臨時休館日(6/7・8)

観覧料 一般 510円 高校・大学生 310円 小・中学生 100円

[主催] 公益財団法人堺市文化振興財団/堺 アルフォンス・ミュシャ館

[後援] 在堺チェコ共和国名誉領事館

[協力] 刈谷市美術館、学校法人 日本教育財団 大阪モード学園、
ローンファ専門店 HAREM

[同時開催] ミュシャLabo #01「絵⇄写真」

※小学生未満、堺市内にお住いの満65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。
※その他各種提携割引制度があります。

小 ユ ア
部 + イ + ン
屋 + の + ニ

アルフォンス・ミュシャと宇野亞喜良

〒590-0014 大阪府堺市堺区田畑井町1-2-0100 ペルマージュ堺式番館(JR堺市駅下車徒歩約3分)
TEL 072-222-5000 FAX 072-222-0000
E-MAIL https://muchasakai-bunshin.com

堺アルフォンス・ミュシャ館



アルフォンス・ミュシャと宇野亞喜良

- ㊦「ミニブックス」ポスター／1967／シルクスクリーン、紙
- ㊧演劇実験室◎天井桟敷公演「星の王子さま」ポスター／1968／シルクスクリーン、紙 宇野亞喜良作、刈谷市美術館蔵



宇野亞喜良 (うのあきら)

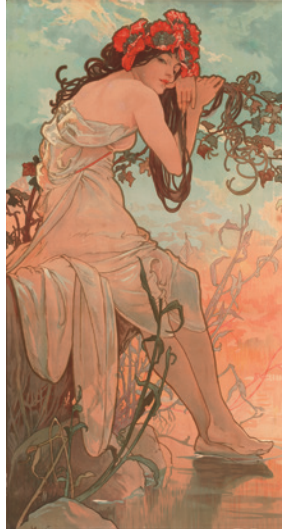
イラストレーター、グラフィックデザイナー
1934年愛知県名古屋生まれ。商業デザイナーとして企業広告やポスター、挿画を手がけるなか、1964年には横尾忠則や和田誠とともに「東京イラストレーターズ・クラブ」を設立。日本における(イラストレーター)の先駆者として、半世紀以上にわたり常に第一線で、幅広い表現活動を行っている。2010年には愛知県の刈谷市美術館で大規模な全貌展が開催された。



Photo by Kazumi Kurigami

AQUIRAX UNO

ALPHONSE MUCHA



㊦夏:四季/1896/リトグラフ、紙



㊦8月:霽さ(下絵)、『コロコロ』誌 第16号 挿絵) / 1899 / 水彩、鉛筆、紙
アルフォンス・ミュシャ作、堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵

アンニュイ【仏:ennui】

ennui

物憂さ、気だるさなどの気分、あるいは鬱陶気。原義は「退屈」だが、日本語においては「鬱げ」「神秘的」など独特の前向きなニュアンスを含む。

小さな美術館で「アンニュイ」に酔いしれませんか？
アルフォンス・ミュシャの才能が花ひらいた19世紀末のパリ。ベル・エポック(良き時代)と回顧される都市文化の華やきの一方で、文学・美術の世界には妖しく頹廢的な雰囲気も漂っていました。ミュシャが描いた女性たちは、優美な微笑みを浮かべながらも、どこか物憂げな遠い目をしています。
本展では代表的な装飾パネルを中心に、ミュシャ作品の華麗さに見え隠れする憂いの表情に注目します。
さらに、少女像と幻想的な世界観で知られる宇野亞喜良の作品を刈谷市美術館より特別出品。ミュシャが描く1900年頃の女性と少女、そして宇野が1960-170年代に描いた少女が醸し出す「アンニュイ」の魅力にせまります。

雨が続いたなら、

桜が散ったなら、

Relation projects.1

ennui × 大阪モード学園

大阪モード学園の学生とのコラボレーションを実施。ミュシャの作品に漂うアンニュイな鬱陶気から着想を得た、ファッション・ヘアメイク作品を展示します。

Relation projects.2

ennui × HAREM

会期中、堺市のローソファ専門店HAREMのソファを展示室に設置。アンニュイな姿勢でゆったりと作品鑑賞を味わえます。

※その他、関連イベントの実施を予定しております。詳しくはHPをご覧ください。

同時開催シリーズ展 #01

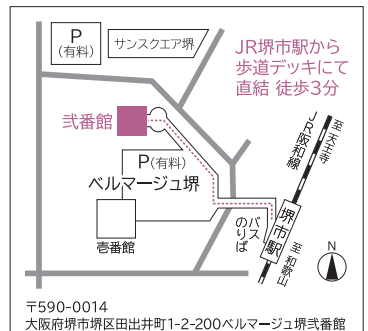
muchu ヨシヲ Labo

絵 ↔ 写真

ミュシャを実験的なまなざしで紹介する年間シリーズ展「ヨシヲ Labo」が始動します。

第1弾のテーマは「写真」。ミュシャ作品の裏側にある、写真を活用した制作プロセスに焦点を当てます。さらに、古典写真作家・若林久未来がミュシャを題材に完全手作業で仕上げた新作をご紹介します。古典的な写真技法(ヴァンダイクプリント)、また古典とデジタルを融合させたオリジナル技法でミュシャ作品に新たな息吹を吹き込んだ、Classical photograph®の世界をご堪能ください。

若林久未来/Renaissance: Sarah Bernhardt/2022/ヴァンダイクプリント、純金箔



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための入館条件があります。予めHPで内容をご確認の上ご来館ください。
※本展に関連するイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、状況により中止または延期にする可能性があります。

